

木村議員、大下議員が聴く 小学生から80代までがつなぐ ー「白市歌舞伎」再復活のいまー

表紙写真／白市歌舞伎実行委員会の皆さん

高屋町白市地区には、江戸時代に芝居小屋「長栄座」が置かれた「歌舞伎のまち」としての歴史が息づいています。1990年代に一度復活したものの、ここしばらくの間姿を消していた歌舞伎が、有志の尽力により2022年に再復活しました。

今回、白市歌舞伎実行委員会と役者の皆さんにお話を伺いました。

プロフィール



白市歌舞伎実行委員会
会長 中杉 義宏さん



白市歌舞伎実行委員会
子ども歌舞伎指導者
大多和 徹さん



白市歌舞伎実行委員会
事務局 天野 誠さん



大人歌舞伎
弁天小僧菊之助 役
野上 貴洋さん



子ども歌舞伎
鈴菜娘雪菜 役
野上 夢歩さん



子ども歌舞伎
南郷力丸 役
野上 竜誠さん



子ども歌舞伎
弁天小僧 役
向井 陽麻さん

地域の絆で文化を育み、 未来へつないでいく 白市歌舞伎

Q 「白市歌舞伎」再復活までの道のりを教えてください。

中杉 「白市の文化を考へる会」の中で、「地域の文化に神楽はあるが歌舞伎は珍しい。歌舞伎を残していきたいよね。」という事で、長らく途絶えていた歌舞伎が1993年に復活しました。

そこから2015年まで毎年開催されていましたが、運営の後継者問題などがあり、しばらく開催されませんでした。自分たちは大変さも分かっているため、途絶えた時に復活させたいとは言いませんでしたが、2019年に「ごちんまりでもいいからやろう」と

いうことで若手有志が立ち上がってくれ、2022年に再復活となりました。

大多和 偶然にも白市地区には、三味線をされる方や舞台用の着付けや着物の修繕ができる方がいました。前監督さんは何冊もの本を読みこんで歌舞伎の勉強

をし、台本を作成されました。かつらも前監督さんの手作り。工務店を営む方が舞台の道具を材料費だけで作ってくれたり、主婦の皆さんが三色幕を作ってくれたり、背景幕も自分たちで書くなど、技術と情熱をもって協力してもらっている方がいた。そこに僕たちは惹き込まれて、今も携わっています。

Q 役者になったきっかけや見どころは？

野上（貴） 去年、娘が大人歌舞伎に出ることになり、自分も



- ① 大人歌舞伎上演中の一幕
- ② 子ども歌舞伎上演中の一幕
- ③ 大人歌舞伎上演中の一幕
- ④ 化粧中の様子
- ⑤ 地域の方と技能実習生の皆さん
- ⑥ 取材風景

一言だけ役をもらったのですが、監督から「来年も出んといけんね」と言われて。地域の人達のつながりとか、子どもがすごい楽しそうにやっているのを見て自分も混じりたいと思って役者になっていきます。地域の歴史や白市のいいところをいっぱい知って、自分たちが少しでも盛り上げていけたらな、という想いもありますね。

野上（竜） お姉ちゃんがやっているのを見て楽しそうだと思って。練習はしんどいけど、本番で大勢の前で演じるのは面白かった。一番の見どころは正体を明かされた時、名乗りを上げて見得を切るところです。

向井 昔の文化に触れることや、難しいけど昔の言葉を話するのが面白い。一番の見どころは「知らざあ言って聞かせやしょう」の決め台詞とともに見得を切るところです。

野上（夢） 去年は急遽大人歌舞伎にも出演し、3日で台詞を覚えしました。今年の役は、客に

土下座をする場面が見どころです。

Q 新たな取組みはありますか。

天野 文化庁の補助金を申請し、練習やメイクの様子を撮影し映像で記録にしています。一方で、舞台道具の刀は重い模造刀で子どもにとっては危険。江戸時代から残る着物も修繕ができない状態です。収益がなく寄付でやっているから、更新するのが難しいですね。

Q 行政に望むことはありますか。

天野 高屋東小学校の児童が減ってきている中、板城小学校の児童が地区を超えて練習に参加してくれたり、昨年からは技能実習生が役者をするなど国際交流も生まれています。歌舞伎に興味を持ってくれる方を探すのは難しいですね。白市歌舞伎は東広島市に残していかないといけない伝統芸能の一つ。この文化を途絶えさせてはいけないと思っています。いろんな地域の方に知ってもらい、参加してもらえるようアピールしていただきたいと思います。